



山中みさお県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

県信用保証協会

ポストコロナの取組みを要望

保証債務残高は過去最高

県議会内外で「住まいと暮らしのエキスパート」として知られる千葉市若葉区選出の山中操やまなか(みさお)県議は、先に閉会した9月定例会県議会で、一般質問に登壇。中小企業の経営を支援する立場から、千葉県信用保証協会の活動で、コロナ禍後を見据えた中小企業の経営改善や事業承継、人出不足といった課題について、県及び保証協会の真剣な対応を要望しました。また、電力需給の逼迫から、県庁舎のLED化を提言し、この実現により県庁の電力消費量に大きな効果が見込まれることが明らかになりました。

山中議員 千葉県信用保証協会のコロナ禍での取り組み状況はどうか。

県労働部長 信用保証協会は、経営基盤の弱い中小企業が円滑な資金調達を行う際の公的な保証機関であり、感染症の影響

が長期化する中で、セーフティネットとしての役割はますます重要となっています。協会の保証承諾額は、令和2年度は実質無利子・無担保の特別資金を多くの方に利用いただいたことから、過去最高の約1兆1

391億円となりました。令和3年度は5月に特別資金の取り扱いが終了しましたが、それでも約3671億円となつています。また、保証債務残高は、

特別チーム新設で伴走支援を実施へ

山中議員 ポストコロナに向けた信用保証協会の取り組みはどうか。

県労働部長 感染症などの影響により、中小企業を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いており、協会では資金繰り支援のほか、経営改善や事業再生等、さまざまな経営課題の解決に向けた支援を行っています。

また、今年度からは、特別資金の返済本格化に対応するため、不安を抱える企業を集中的に支援する特別チームを新設し、訪問による相談や専門家の派遣など、きめ細やかな伴走支援を行つてまいります。

要望 課題は、コロナ禍後を見据えた経営改善や事業の再構築といったことはもちろん、経営者の高齢化に伴う事業承継や人出不足といった従前からの課題も引き続き、関係機関と連携しながら、個々の中小企業に寄り添った支援をお願いしたい。

鹿島川河岸の補修

山中議員 私の地元である鹿島川は、近隣の農業用水として利用されるとともに、地域の身近な河川として、広く住民に親しまれています。

鹿島川における河岸の補修実施状況はどうか。

県土整備部長 鹿島川では、谷当橋から新橋までの延長約2キロの区間で、河岸が浸食されている箇所が

点在しており、浸食の著しい箇所から順次、補修を実施しているところです。これまでに左右両岸合わせて約700メートルの補修が完了しており、今年度は新橋付近の右岸約70メートルの補修を実施することとしています。

山中議員 鹿島川におけるカミツキガメ対策について、県はどのように取り組んでいるのか。

環境生活部長 県では、カミツキガメが多く生息する印旛沼水系を中心に防除に取り組んでおり、令和3年度は1323頭を捕獲し、このうち鹿島川では172頭を捕獲しています。

要望 鹿島川河岸の維持補修が進むと、人々がカミツキガメに遭遇する可能性も高まると考えます。引き続き、カミツキガメの防除に着実に取り組むとともに、近隣住民が危険な目に遭わないよう、習性や見つけた時の対処法など、周知啓発に関係団体と連携し層の力を入れていただくよう要望します。

踏切道の拡幅を要望

山中議員 県内における踏切道の拡幅に関する取り組み状況はどうか。

県土整備部長 交通安全故防止や交通の円滑化を図るため、改良すべき踏切として県内59カ所について、国から指定されています。このうち、16カ所については踏切道を拡幅することで鉄道事業者と協議が整い、これまでに1カ所が完

了、現在、国が1カ所、県が3カ所、千葉市が1カ所で事業実施しているところです。

要望 千葉市若葉区に、中大踏切道のように、歩行者が日常的に危険にさらされている狭い踏切道については、着実に拡幅されるよう、引き続きしっかりと取り組んでいただくことを要望します。

点

●若葉区や県政へのご相談、ご要望をお聞かせください

山中みさお 県事務所

TEL.043(234)5252

〒264-0024 千葉市若葉区高品町1585-21

山中議 県議

電力需給ひっ迫で提言!

県庁舎の照明LED化で 電力の3分の2節電効果

山中議員 今年の夏は、気温の上昇に伴う冷房使用の増加などで、電力需給の状況が厳しくなったことから、政府は千葉県を含む東京エリア内に「電力需給ひっ迫注意報」を発令しました。

設備更新時のエネルギー機器の導入など、二酸化炭素排出量の削減に向けた取り組みを行い、地球温暖化対策を進めてまいります。

要望 県には、県庁舎以外にも施設があるので、それぞれの施設でも、LED照明の導入に着手し、実に取り組まれるよう要望します。

若松高周辺の安全対策

山中議員 県立若松高校と市道若松町14号線を境に、反対側の敷地には、現在物流倉庫が建設中であり、来年には稼働する予定と聞いています。今後予想される交通量の増加を見据えれば、県立若松高校西側の道

路への安全対策が必要と考えるがどうか。
警察本部長 ご指摘の物流倉庫の建設計画は、県警でも承知しており、これまでに千葉市や事業者とも物流倉庫周辺の交通安全対策について協議を行ってきたこと

県庁舎における照明のLED化の進捗状況はどうか。また、それによる節電効果はどうか。

熊谷知事 県庁舎の照明器具は、10年間のリースによりLED照明を導入することとし、7月に一般競争入札を行い、事業者を決定したところです。今後、順次各庁舎への設置作業を行い、令和4年度末までに設置を完了する予定です。

また、これにより県庁舎の照明にかかる年間電力量の3分の2に相当する約145万キロワット時の節電効果が見込まれると見られます。今後とも、節電によるエネルギー使用量の削減のほか、

電力需給ひっ迫の回避に向けて、省エネ・節電の取り組みを進めていくことが重要です。
県庁舎以外の県有施設でも、LED照明の導入に着手し、実に取り組まれるよう要望します。



自席で答弁を聞く山中県議

この協議で事業者からは、安全対策として「物流倉庫を利用する搬出入車両が市道若松町14号線を通行することはしない」とことや、「通学時間帯の搬出入車両の出入りを控える」ことに加え、「倉庫出入り口に警備員を配置する」とのことです。

自転車の安全教育

山中議員 ごみ処理施設周辺地域では、ごみ収集や運搬を行う大型車両が、生活道路を頻繁に通行します。ごみ処理施設周辺に立地する高校では、多くの生徒が自転車を利用して通学していることから、高等学校では交通安全教育をどのように行っているのか。
教育長 県立高校では、約半数の生徒が自転車通学しています。自転車の安全

し、歩行者の安全を確保すること等の説明を受けているところです。
県警としては、工事期間中及び倉庫稼働開始後の経過を見つつ、市や事業者と連携し、必要な安全対策が講じられるよう努めてまいります。

ごみ処理施設設置基準

山中議員 ごみ処理施設の周辺状況への対応について伺います。市町村が設置するごみ処理施設について、周辺の生活環境にさまざまな影響が考えられるが、県はどのように対応しているのか。
環境生活部長 市町村がごみ処理施設の設置を計画する場合、廃棄物処理法に基づき、騒音や排ガス等による周辺への影響を予め調査し、その結果を告示縦覧した上で、住民等からの意見を必要に応じて反映させた後、設置届出を作成することに

利用をまとめた「ちばサイクリクルールの徹底や、危険性を疑似体験させる自転車交通安全教室の開催等による交通安全意識の向上を図るとともに、「学校安全の手引き」を活用し、車種によつて内輪差や死角が異なることなどを理解し、危険回避のための適切な行動がとれるよう、指導を行っているところです。
教育委員会としては、今後

がんセンターの収支

山中議員 千葉県がんセンターでは、新棟のオープンにあわせ、手術支援ロボットの増設やハイパーサーミアの新規導入など、最新の医療機器が整備されました。こうした影響もあり、患者数や手術件数は、新棟オープン以降、順調に推移していると聞いています。一方、病院事業会計の令和3年度決算見込みでは、赤字決算が続いています。

おける交通安全教育の着実な実施に努めてまいります。



9月県議会の本会議場